



災害に備えて対策は?

自前での燃料確保をご提案いたします

災害時に備えた社会的な重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業のお手伝い

災害時にはBCP対策として常時燃料確保を行う事が望ましい。しかしローリーによる配送は燃料の保管契約をしても配送が困難になる事が予想されます。



詳しくは裏面へ

※以下経済産業省の「国内危機」(災害リスク等)

需要サイドの強靭化

被災直後の交通網等の混乱を想定すれば、安定的な石油・LPガス供給が困難な事態が発生することが予想されます。このため、電力・ガス供給が途絶えても、業務継続が必要となる重要施設(災害対策本部や行政庁舎、拠点病院等の施設)においては、自家発電設備等を稼働させるため、自衛的に、供給網が回復するまでの数日間分の燃料備蓄を確保しておくことが望まれることから、「自衛的備蓄」の推進の一環として、石油・LPガスの燃料備蓄の促進を支援しました

数日分の自衛的備蓄の確保が急務ながら、現状では備蓄設備の容量不足や経時品質変化の問題点があります。

そこで!

流動備蓄として  
**灯油・軽油・重油** 備蓄タンクの  
**サンキーパー**  
 自家燃料タンク (電源・危険物取扱者免状不要)  
※サンキーパーにつきましては別紙参考資料をご確認ください。

**導入時のポイント**

電気工事・配管工事 危険物取扱者 申請・検査・書類作成	<b>不要</b>	電気代は <b>0</b> 円
-----------------------------------	-----------	-----------------

経時品質変化防止 (流動備蓄)

サンキーパー導入により非常用備蓄が可能になるとともに**日常の使用**も可能になります。また、供給につきましては出光興産株式会社のネットワークを利用し全国に供給サービスが可能です。

お問い合わせは